

衆議院 小選挙区選出 選挙公報 (第2区)

北海道選挙管理委員会

- 経歴
- ▶1959年 札幌市生まれ
 - ▶1971年 札幌市立札幌小学校卒業
 - ▶1974年 札幌市立新琴似中学校卒業
 - ▶1977年 札幌光星高等学校卒業
 - ▶1978年 青山学院大学入学と同時に衆議院議員秘書として国政を学ぶ
 - ▶1982年 青山学院大学経営学部卒業
 - ▶2003年 民主党北海道第12区総支部代表に就任
 - ▶2003年 第43回衆議院議員総選挙初当選
 - ▶2005年 第44回衆議院議員総選挙二期目当選
 - ▶2009年 第45回衆議院議員総選挙三期目の当選
 - ▶2010年9月 菅内閣で農林水産大臣政務官就任
 - ▶2011年6月 菅内閣不信任決議案に賛成し民主党を離席、無所属となる
 - ▶2011年12月 新党大代表代行兼幹事長に就任
- 主な役職
- 北海道アーチェリー連盟会長／北海道トランポリン協会会長
 - 北海道バイアスロン連盟副会長／NPO法人札幌市肢体障がい者協会顧問
- 著書
- 「安心時代の創造へ」
 - 「国政に市民の感覚を」ほか

——民主党の三井わきおさんの後継候補者として、全力で頑張ります！—— 政治家として成し遂げたいこと

- 政治の役割は「しあわせの土台づくり」を進め、人々の多様な価値観に応えること、国民が自分で政府を選べる、選択肢のある政治を実現します。
- 北海道新幹線の札幌延伸は、三井わきおさんから引き継ぎ、早期開通を実現します。
- 消費増税を国民に求める前に徹底して行政改革・国会議員の定数削減などを行うべきです。
- 北海道の「農」「水」「林」を守り抜きます。
- 豊かでクリーンな地産地消のエネルギー供給を実現します。
- 災害に強い安全な北海道をつくりまします。
- もつと身近に、親しまれる郵便局の機能を拡大します。
- 一極集中の集権国家から、分権型の道州国家を目指します。
- 最低保障年金を創設し、安心と信頼の社会保障制度改革を進めます。
- 多様な人材を育てる教育改革を進めます。
- 働く女性の力を引き出す環境を整えます。



維新の党公認
松本こうじ

維新の党・民主党 両党本部で選挙協力実現
比例代表は 維新の党
「ぶしない・裏切らない」本音の政治を貫きます！

- ☆経済再生 財政再建を、この道で。
- ☆地方創生 女性活躍推進・少子化対策を、この道で。
- ☆暮らしの安全・安心、教育再生を、この道で。
- ☆外交・安全保障を、この道で。
- ☆元気なふるさと、活力あふれる地域、この道で。
- ☆医療・介護・年金・子育ての充実を、この道で。
- プロフィール
- 北海道生まれ、北海道育ち。父は公務員、母は専業主婦。札幌市立札幌小学校、札幌市立札幌中学校、札幌光星高等学校、青山学院大学を卒業。1978年に衆議院議員秘書として国政を学ぶ。1982年に青山学院大学経営学部卒業。2003年に民主党北海道第12区総支部代表に就任。2003年に第43回衆議院議員総選挙で初当選。2005年に第44回衆議院議員総選挙で二期目当選。2009年に第45回衆議院議員総選挙で三期目の当選。2010年9月に菅内閣で農林水産大臣政務官に就任。2011年6月に菅内閣不信任決議案に賛成し、民主党を離席し、無所属となる。2011年12月に新党大代表代行兼幹事長に就任。

地方創生加速!

景気回復、この道
しかありません。

よしかわ貴盛が強く、
たくましく政策を断行！

信頼感がなく、安心感を与えられないような政治は、もう御免です。

わが自民党には、しっかりと国家戦略と決して裏切らない政策実行力があります。北海道と日本の創生を着実に目指すダイナミックな政策実行、その一翼を私にも担わせてください。



よしかわ貴盛
たかもり 貴盛
64歳

比例代表は
民主党

エネルギーGO!GO!
一躍に実現
しましょう!

【池田まき プロフィール】

1972年5月24日生まれ(42歳)、東京都板橋区出身

主な職歴：東京都板橋区役所福祉事務所、北海道NPO被災者支援ネットワーク(生活相談センター長)、札幌市地域包括支援センター、北海道社会福祉士会

【資格】社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・介護支援専門員・ヘルパー・防災士

【学歴】現在、北大公共政策大学院在籍中(2015年3月修了予定)

【活動】反貧困ネットワーク北海道連盟委員、北海道社会福祉士会生活困難者支援委員、フリーゾーンチャルワーカー、内閣官房地域活性化伝道師

- 池田まきの決意
本気です！
- 民主党 暮らしのための政治。
- 福祉の仕事に就いて20年(そのうち板橋区役所で14年)。「格差」や「社会的な不利益」、「貧困」や「差別」などといった社会問題に真正面から向き合ってきました。
- 北海道大学公共政策大学院で「公共政策とは何か」を学がなかたため憲法に記された人権をばしめ、人が人として生きていくための絶対的な権利がしっかりと守られる社会、誰もが安心して普通に暮らせる社会の実現には政治の力が重要だと痛感し、政治の舞に挑戦することを決意しました。
- 池田まき5つの重点政策
- 誰が安心して暮らし、誰もが輝ける「ユニバーサル社会」の実現
 - 医療・福祉 安心と信頼、持続可能な医療・介護・保健福祉サービスを實現します。
 - 女性・子ども 社会全体で子育て、子育て、女性と子どもの貧困を解消します。
 - 雇用・経済 労働者保護ルールの改善を阻止し、また、中小企業を支援します。
 - 暮らし 命が大切にされ、人間らしい暮らしが保障される社会を創ります。
 - 平和・エネルギー 平和を守ります。原発ゼロ社会をめざし、再生可能エネルギーを推進します。



池田まき

衆議院選挙は
2回投票します
小選挙区は
比例代表は
日本共産党
とお書き
ください

政治を変える絶好のチャンス 暴走政治は日本共産党で変えよう

消費税10%増税を許さない 先送りではなくキッパリ中止を

- プロフィール
- 1974年札幌市生まれ／1993年帯広農業高等学校林業科卒業／1993年北海道森林組合連合会に就職／2005年衆議院小選挙区二区に立候補／2007年・2011年北海道議会議員選挙(東区)に立候補／現在、党准中央委員、党道常任委員、札幌東区地区委員長
- 増税しなくても財源あります 富裕層と大企業に充分の負担 大企業の内部留保を活用
 - 集团的自衛権行使容認を撤回させます
 - 原発をなくし、自然エネルギーに変えます
 - ブラック企業をなくし、正社員があたり前の社会をつくりまします
 - TTP交渉からただちに撤退を
 - 政治をやめろ 「政治とカネ」ただし企業・団体献金、政党助成金一円もつけとない党だからできます
- 消費増税とアベノミクスでくらしも経済もガタガタなのに、庶民の苦しみは心を寄せる気持ちにはさらさらしない。そんな政治を日本共産党は許しません。
- みなさんと力をあわせてたたかいます。みなさんのお力で国会に送り出してください。



日本共産党公認
金倉まさとし

衆議院議員総選挙

最高裁判所裁判官国民審査

投票日 12/14

投票時間/午前7時～午後8時

(一部地域により投票時間が異なる場合があります。)

最高裁判所裁判官国民審査の投票用紙には、

- 1 やめさせた方がよいと思う裁判官については、その氏名の上の欄にXを書いてください。
- 2 やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないでください。

※詳しくは、市区町村の選挙管理委員会(市区役所・町村役場)にお問い合わせください。

投票日に用事のある方は、
期日前投票!

12.3水▶12.13土

※国民審査は12月7日(日)～12月13日(土)

投票時間/午前8時30分～午後8時(土・日も投票できます。)

※一部の投票所で投票時間が異なる場合があります。詳しくは市区町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

お仕事、冠婚葬祭、旅行やレジャーなどのご予定があり、投票日に投票できない方は、期日前投票をしましょう。期間中、毎日受付しています。

12月14日は投票日です。

特に、30歳未満の青年層の投票率が低い傾向にあります。あなたも、投票に参加しましょう。